

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年追加補綴Ver.2 (BPI/BEL対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCh_2010bpl&be(v.2.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)テックランド米子2号店	階数	地上3F
建設地	別紙による	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	0人
気候区分		年間使用時間	0時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 0.0	評価の実施日	2014年9月8日
敷地面積	9,152 m ²	作成者	大西勇気
建築面積	5,571 m ²	確認日	2014年4月10日
延床面積	12,683 m ²	確認者	堀江司

外観パース等
図面貼り付けた場合は
シートの長さを調整してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q: 環境品質 Qのスコア = 2.8		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0 音環境 3.0 温熱環境 3.0 光・視環境 3.0 空気質環境 3.0	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1 機能性 3.1 耐用性 3.0 対応性 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4 生物環境 1.0 まちなみ 3.0 地域性・ 3.0

LR: 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5 建物の 3.0 自然エネ 3.0 設備システ 4.7 効率的 3.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1 水資源 3.0 非再生材料の 2.9 汚染物質 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4 地球温暖化 5.0 地域環境 2.4 周辺環境 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合 省エネ材料、太陽光発電を採用しエネルギー負荷の少ない建物として計画した	その他 0
Q1 室内環境 省エネ空調機を採用し室内温度負荷の軽減を行った	Q2 サービス性能 メンテナンスに手間の掛からない高耐久性の建材を使用した
LR1 エネルギー 省エネルギー機器を使用し総合的な省エネルギー対策を行った	LR2 資源・マテリアル ハロン消火器を使用しない
	Q3 室外環境(敷地内) 緑地・空地を確保し、通風及び周囲への威圧感軽減に配慮した計画とした
	LR3 敷地外環境 ゆとりある配置計画とし、通風・駐車場について近隣の迷惑とならないよう配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される